バレーボール部夏季休業中も練習と勉強に邁進中！！

７月２６日から８月１８日までの短い夏休みが始まりました。
７月中の午前は課外授業（希望者）と各自の課題（学習）へ取り組む時間帯。
午後は９月に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選に向けた練習と練習試合。コロナ感染者数が過去一番という報道の中、一人一人欠けることのないように気を遣った行動を大切に過ごしています。今年も残念ながら合宿は行いませんが、他校の皆さんの胸を借り、刺激をもらいながらチーム力向上に努めていきたいと思います。
OG 会からのご支援で、バランスボールとクレイジー（イレギュラー）ボールを使った練習を取り入れはじめました。OG の皆様、日頃よりご支援いただきありがとうございます。良い知らせができますよう、現役生頑張っていきます。

ここで部員から活動について一言ずつ述べさせていただきます。
２年生　木皿　葉子
宮一バレーボール部は２年生９名、１年生６名の計１５名で日々『戮力協心』に努めて活動しています。私はバレーボール未経験者で入部し、最初は戸惑うこともありましたが、保護者の方のサポートや顧問の先生方からのご指導、そしてチームの明るい雰囲気に力添えを受けて、今は楽しくバレーボールを学んでいます。この恵まれた環境への感謝の気持ちを忘れず、これからもチームの一員として目標達成に尽力します。

１年生　鈴木　来佳
私は中学時代のバレーボール部の先輩に憧れて宮一バレーボール部に入部しました。宮一バレーボール部は横断幕に『戮力協心』を掲げ、日々の練習に励んでいます。顧問の先生方の熱心な指導と優しい先輩、仲の良い同級生とともに明るく楽しくバレーボールに取り組んでいます。まだまだ私の知らないバレーボールの知識やできていない技術も多いので、練習一回一回を大切にして頑張りたいと思います。

令和４年度宮城第一高等学校　バレーボール部

新チーム始動！！

　県総体が終わり、３年生は部活動に一区切りをつけ、進路活動に舵を切ります。
　ここからは２年生を中心とした新たなチーム作りの始まりです。
　チームとしては県総体時、２年生が多くスタメンで経験を積んだことを生かしていきたいと思います。
　９月に行われる全日本バレーボール高等学校選手権大会代表決定戦一次予選に向けて、一人一人の良さをさらに高めながら、チーム一丸パワーアップしていきたいと思います。

新部長　伊藤　楓菜　（山田中学校）
　宮一バレーボール部は「自主自律」の校風の元、一人一人が主体性を持ち、県ベスト８という目標に向かって、互いに高め合う活動を進めていきます。勉強との両立は簡単ではありませんが、顧問の先生方や保護者の方々に支えていただきながら、今までの悔しさも糧にしながら日々練習していきます。
これからの試合をチーム全員で戦い抜いていくので、応援よろしくお願いします。

新主将　加藤　愛稀　（成田中学校）
　宮一バレーボール部は「戮力協心」をモットーに活動しています。
　勝つことにこだわりを持ち、技術向上に努めていきます。
　自律した行動ができる人になることが私たちの最終目標だと思います。
　日々練習し、充実した高校生活を送ることができる部活動です。
　チーム全員で、全力で頑張ります！

令和４年度宮城第一高等学校　バレーボール部

活動日時　火～金曜日　放課後１８：３０まで　　土・日は割り当てによる活動
※試合期（大会に近い期間）は土日に練習試合実施のため、休日を平日に変更する場合あり

スローガン　「戮力協心（全員の力を結集し、一致協力して物事に当たること）」

令和４年度第７１回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技結果

期日　　令和４年６月３日（金）～

会場　　大崎市三本木体育館（６／３）、大和町総合体育館（６／４）

結果　　２回戦　対　伊具高校　　２（２５－　２、２５－　１）０　勝利

３回戦　対　ウエルネス高校（S）　０（　８－２５、１６－２５）２　敗退

戦評　　大会初日は、２回戦第２試合から出場となった。初戦の硬さが試合前の練習時にはあったが、試合に入るとサイド攻撃を中心に圧倒的な攻撃力を発揮し、試合展開は宮城第一のワンサイドゲームとなった。２日目の３回戦は、シード校のウエルネス高校戦となる。

大会２日目は、第４試合のため学校で練習を行い、準備・対策を立てた上で試合に臨んだ。第１セット、宮城第一のサーブから試合開始。相手エースをマークしていくことをチームで確認して試合に臨んだが、そのマークを上回る正確な攻撃で試合序盤、連続して得点を重ねられた。その後、点には繋がらないものの、課題であったサーブレシーブが崩されることはなく、ラリーに持ち込んだが、宮城第一のサイドからの攻撃をウエルネスは集中して拾い、レフトエースのオープン攻撃で得点につないでいった。

第１セットは８対２５でセットを失う。

第２セットは相手攻撃にも慣れ、さらにラリーの展開が増える。ライト攻撃で幅をきかせて攻めるが、ウエルネスの守備は崩れることなく、最後まで粘り強く試合を進めたものの、１６対２５でこのセットを失い、３回戦敗退となった。

コロナ禍の中、練習試合の開催制限また自粛ということで、思うとおりの活動はできなかったが、部員一人一人の大会への思いは、大会参加を全員で果たすことに繋がり、また精一杯のプレーに表現できていたと感じる。

新チームの課題、宿題は多く残されたが、３年生の思いを引き継ぎながら、全日本選手権予選、県新人戦に向けてチーム作りを進めていきたいと考える。

大会予定

令和４年　９月１０日・１１日　　全日本高校選手権一次予選
　　１０月２７日～２９日　　〃　　県代表決定戦
令和５年　１月２１日～２３日　　宮城県高等学校新人大会